



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2024.2.29 No.504

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

右QRコードを

ご活用下さい



パートナー制度拡充、核兵器禁止条約批准、保育士配置引き上げ等 陳情が区民生活・保健福祉委員会で採択へ

異性の事実婚もパートナーシップ
制度の対象にしている
首都圏の主な自治体

東京	墨田区 国立市 武蔵野市
神奈川	横浜市、横須賀市、逗子市、鎌倉市、平塚市、藤沢市など
千葉	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、柏市など
埼玉	北本市、行田市など

2023年6月4日付け東京新聞

今回の提出された陳情の内容は、選択的夫婦別姓が認められていないことで、事実婚関係を選択している異性カップルも、パートナーシップ制度の対象にすることを求めるものです。

杉並区パートナーシップ制度は、性的マイノリティのカップルに区が受理証等を交付し、区が可能な範囲で配偶者と同等のサービスを提供するものです。

事実婚カップルも対象へ

21日の、杉並区議会保健福祉委員会では、『子どものために保育士配置基準の引き上げを求める意見書を国に対して提出することを求める陳情』を審査、全会一致で採択されました(詳細裏面参照)。これらの陳情は、3月18日の本会議にて全議員参加のもと、最終的な採決が行なわれます。

2月20日、杉並区議会区民生活委員会で『杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情』『杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情』(同趣旨ほか1本)を審査(詳細裏面参照)、いずれも賛成多数で採択されました。(下表参照)

新生議会の前向き変化 採択される陳情が増える

■区民生活委員会(2024年2月20日)での陳情の賛否

- ①「杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情」
- ②杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情

役職	議員	会派	①事実婚適用を求める陳情	②核禁止条約参加を求める陳情
委員長	ひわき 岳	立憲	—	—
副委員長	藤本 なおや	自無	退席	×
	田中 ゆうたろう	セン	×	×
	和氣 みき	共産	○	○
	山名 かなこ	れ耕	○	○
	安田 マリ	立憲	○	○
	松尾 ゆり	杉わ	○	○
	山本 ひろ子	公明	○	×
	井口 かづ子	維無	欠	欠

※ 委員長は表決に加われないため空欄。賛否：○/賛成、×/反対、欠/欠席
※ 会派の正式名称：自無/自民党・無所属杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、維無/維新・無所属議員団、れ耕/れいわを耕す、セン/杉並をセンタク致し候、杉わ/杉並わくわく会議

■保健福祉委員会(2024年2月21日)は全会一致で採択

東京新聞報道(左上)では、他自治体においてもパートナーシップ制度に事実婚カップルを対象にしている事例が増えていることを紹介。杉並区でも岸本区政のもとで検討が進められています。党区議団は、結婚の際にどちらか一方が必ず改姓しなければならぬのは日本だけであることを指摘。行政の役割は夫婦別姓を求める夫婦の自由を改善する事であり、パートナーシップ制度に事実婚カップルを適用することは、基本的な人権の尊重と結婚の自由を保障するもの、と意見を述べ採択を主張。賛成多数で採択されました。本会議においても採択される見通しです。

